

# 平成28年度 総合政策部 方針書

総合政策部長 小丹 茂樹

## 1. 部の使命（役割）

総合計画に掲げる都市像の実現に向け、市役所の**支援部局**として取り組む。

財源の確保に努め、**持続可能な「幸せな地域社会」**の実現を目指す。

## 2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・H27年度は、第2次総合計画（基本構想：議決）の策定をはじめとして、総合戦略、FM計画、財政計画（その他、新市建設計画、過疎計画等）、と市の基本的な計画を策定した年度であった。
- ・H28年度は、これら基本的計画の推進開始年度である。市内部の横断的確認を行いながら、市民の皆さんにも改めて丁寧な説明をし、計画の着実な推進を図っていく。
- ・常に、全体を俯瞰し、「幸せな地域社会」の実現につながる行動をしているか振り返りながら、計画を推進していく。
- ・あらゆる「コミュニケーション」を大切にしていきたい。 ・ポイント⇒タイミング、着眼大局・着手小局

## 3. 平成28年度の『スローガン』

- ・一体感のある組織を目指そう！（チーム力のアップ）
- ・「なぜ」、「なして」を深掘しよう！（個人の意識改革）

## 4. 年度目標となる方針（目標）

- ① 第2次横手市総合計画の推進
- ② 横手市財産経営推進計画（FM計画）の推進
- ③ 行政評価制度を中心とした新行政経営マネジメント・システムの推進

## 5. 重点取組項目

(1)	項目	◆第2次横手市総合計画の推進
	取組内容	・実施計画の庁内部局横断の調整の実施 ・市民、議会とのコミュニケーションの促進(再確認)しながら、計画を実施 ・行政評価を中心とした新行政経営マネジメントシステムにおける点検の実施
(2)	項目	◆横手市財産経営推進計画(FM計画)の推進
	取組内容	・実施計画の庁内部局横断の調整の実施 ・市民、議会とのコミュニケーションの促進(再確認)しながら、計画を実施 ・行政評価を中心とした新行政経営マネジメントシステムにおける点検の実施

	<p>項目 ◆行政評価制度を中心とした新行政経営マネジメント・システムの推進</p>
(3)	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価制度の庁内周知徹底</li> <li>・全業務の棚卸実施</li> <li>・モデル的施策、事務事業からの点検開始</li> <li>・市民、議会とのコミュニケーションの促進(再確認)しながら、評価点検</li> </ul>

#### 6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- (1) 2年前に引き続き「まちづくりアンケート」の実施。市報の特集による広報を実施。実施計画の概算ローリングを新システムの「FAST」を活用し全庁展開。
- (2) 公共施設部会、インフラ部会による情報共有と課題検討実施。プロジェクトチームによる業務提携化検討作業。
- (3) 運用マニュアルの策定。庁内説明会と情報共有。

#### 7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- (1) (3) 総合計画のローリングと行政評価、予算編成作業を連動させるべく部内連携、全庁調整に努める。市民(審議会等)や市議会との対話に努め、新システムの見える化を進める。
- (2) 次年度計画のローリングについて、市議会と協議を進める。個別計画については、市民理解に努める。

#### 8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

- (1) 第2次総合計画 ⇒ 市民アンケートの実施。各部局でのアンケートの点検と評価を行った。予算編成と連動した計画の見直しを行った。《課題》・計画のローリングと市民対話についての手法の確立と実践。
- (2) FM計画 ⇒ 庁内横断会議による対話。プロジェクトチームによる検討。全庁的計画のローリング作業を行った。議会との対話を継続。2年目に向けた計画のローリングを確定した。《課題》・前期5年で、追加実施すべき事業の精査。・中長期計画事業の実施年度の議論を深めること。
- (3) 新行政経営マネジメント ⇒ 財務会計システムと連動したシステムとして確立。《課題》・職員への周知徹底。・職員の改革・改善意識の高揚に向けた活動。